

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 3 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	利用者の状況が頻繁に面会に来られる家族に対しては概ね伝わっているが、遠方の家族や疎遠になっている家族に対する取り組みが不足しているため状況が伝わっていない。	居室担当スタッフの家族連携強化	定期的(年3回程度)に、居室担当スタッフから家族へ利用者の状況を電話で伝えたり、利用者自身に手紙を書いてもらうなどの工夫をしたり、普段の生活状況の写真を送るなどして家族との連携を深める。	12ヶ月
2	5	利用者ができなくなっていくことに対して、どのようにケアをしていくのかということが中心で、「利用者は、本来どのように生きたかったのか、どういう望みがあるのか」というような本質的なことに視点を移せていなかった。(昨年度実行してきたことを、継続して定期的に行うようにする。)	利用者の願いや希望を強く意識して、ケアにあたる。	昨年度の取り組みを継続して、利用者の願いや希望を叶えていくという視点に大切にする。定期的に各担当がアセスメントをし、ケア目標を定めて実践していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。